

~~~~ 当日のプログラム ~~~~

【1日目】10月13日（土） 会場:市地域医療センター2階講習室

| 時間          | 内容                                              | 時間          | 内容                       |
|-------------|-------------------------------------------------|-------------|--------------------------|
| 9:30~10:00  | 受付                                              | 13:00~13:05 | 市長あいさつ                   |
| 10:00~10:05 | 開会、主催者あいさつ                                      | 13:05~13:40 | テーマ：人の健康<br>情報提供、役割分担の決定 |
| 10:05~10:10 | 討議会開催の趣旨説明                                      |             |                          |
| 10:10~11:00 | 討議の進め方、市の概要、総合計画について                            | 13:40~15:30 | 討議                       |
|             |                                                 | 15:30~15:35 | (休憩)                     |
| 11:00~12:00 | 講演：国士舘大学 平石正美教授<br>テーマ：市民社会を確立するための<br>制度設計の考え方 | 15:35~16:15 | 発表（各班5分）                 |
|             |                                                 | 16:15~16:25 | 平石教授による講評                |
|             |                                                 | 16:25~16:30 | 事務連絡、解散                  |
| 12:00~13:00 | (昼食)                                            |             |                          |



【2日目】10月20日（土） 会場:市勤労福祉会館3階ホール

| 時間          | 内容                        | 時間          | 内容                        |
|-------------|---------------------------|-------------|---------------------------|
| 8:30~9:00   | 受付                        | 13:20~13:55 | テーマ：社会の健康<br>情報提供、役割分担の決定 |
| 9:00~9:05   | あいさつ、日程の確認                |             |                           |
| 9:05~9:40   | テーマ：まちの健康<br>情報提供、役割分担の決定 | 13:55~15:35 | 討議                        |
|             |                           | 15:35~15:40 | (休憩)                      |
| 9:40~11:20  | 討議                        | 15:40~16:25 | 発表（各班5分）                  |
| 11:20~11:25 | (休憩)                      | 16:25~16:35 | 平石教授による講評                 |
| 11:25~12:10 | 発表（各班5分）                  | 16:35~16:40 | 主催者あいさつ                   |
| 12:10~12:20 | 平石教授による講評                 | 16:40~16:45 | 事務連絡、閉会                   |
| 12:20~13:20 | (昼食)                      |             |                           |



大和市イベントキャラクター「ヤマト」

# やまと市民討議会 開催結果

## 「第8次総合計画・後期基本計画」の策定に向けて『やまと市民討議会』を開催しました！

大和市の将来都市像「健康創造都市 やまと」を実現するための後期基本計画（平成26～30年度）策定に向け、平成24年10月13日（土）、20日（土）の2日間にわたって、『やまと市民討議会』を開催しました。これは、サイレントマジョリティと呼ばれる、市に意見を述べる機会の少ない人たちの意見を伺うために、市が企画したものです。



無作為に抽出した18歳以上の市民3,000人に参加案内を送付し、その中から応募のあった27人に参加していただきました。また、市内の高等学校のうち4校から13人の生徒も参加。若者ならではの発想で意見を述べってもらうことにより、一般の方々も良い刺激を受け、討議会全体が活性化されました。さらに、本市の若手職員16人も、行政のプロとしての能力アップのため参加しました。

### ~~~~ 講演 市民社会を確立するための制度設計の考え方 ~~~~

国士舘大学政経学部  
教授 平石 正美氏に  
講演していただき  
ました。



日本人の社会性が変わって  
きた要因は…??

これからの地方自治  
のあり方とは…??

#### 【重要な視点】

- ① 今までとは異なる新たな視点からのコミュニティの活性化、ネットワークの再構築
- ② 市民参加の枠組みの再設計
- ③ 共感や連帯感を実現できる社会の形成

#### 《市民討議会に参加して…（参加者のうち34人の方からの回答）》

- ・市内各地域のいろいろな年代の方々と話すことができ楽しかった。（50代女性）
  - ・これで終わりではなく、市民参加の討議会を続けてほしい。（60代女性）
  - ・「地域力」が、今後は必要なのだと実感できた。この討議会をきっかけに「気軽に何かに参加してみよう！」という気持ちが芽生えた。（30代男性）  
など多数の感想が寄せられました。
- また、参加して「良かった（29人）」「まあまあ良かった（5人）」と大変肯定的な感想をいただきました。

### ● 今後の取り組み ●

この市民討議会でも頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見としてとりまとめ、後期基本計画を検討・作成するための重要資料として取り扱います。



問合せ先

大和市 政策部 総合政策課 総合計画担当  
電話：046-260-5350（直通）



©1993 YAMATO CITY

# 3つの「健康」をテーマに各グループで話し合っていました！！

## 人の健康

### 主要課題

### 対応方針・解決策

#### ①心身の健康について

1グループ

- ・緊急医療体制の向上
- ・検診への参加
- ・地域の活性化や環境の美化

- ・医師の増員、夜間対応の拡充
- ・楽しみをもって参加できるように 他
- ・自治会への参加や緑を増 他

2グループ  
★高校生

- ・医療サービスの宣伝
- ・病気について相談しやすい環境づくり
- ・人との交流（声かけ）

- ・掲示板、回覧板等で周知
- ・他人との壁をなくし、親近感を醸成する 他
- ・交流の場を増やす

#### ②高齢者、障がい者などへの支援について

3グループ

- ・誰もが暮らしやすい環境づくり
- ・助けあいの地域づくり
- ・弱い立場の方の視点に立ったサービスづくり

- ・緑の保全・活用、施設の利便性の向上
- ・ネットワークづくり 他
- ・弱い立場の方に配慮できるよう職員等の質を向上する

4グループ

- ・福祉情報の入手方法
- ・高齢者の生きがい活動の活発化
- ・民生委員・介護施設の不足

- ・相談窓口の一本化、情報提供の多様化
- ・若い世代の自治会入会を促進 他
- ・不足補充のための予算化

#### ③子育て支援について

5グループ

- ・行政が子を預けたい親のニーズに対応できていない
- ・施設やサービスはあるが利用されていない
- ・安心して子どもを外で遊ばせられない

- ・保育施設、行政とボランティアの連携
- ・サービス提供の方法を工夫する 他
- ・昔からの公園や広場を点検整備する

6グループ

- ・地域で子育てを助ける仕組み
- ・世代を超えたコミュニケーションの機会づくり
- ・子育てにはお金が必要

- ・子どもあずかり隊をつくる 他
- ・自然教室での多世代間コミュニケーション
- ・予防接種の助成金を増やす

#### ④学校教育について

7グループ

- ・人づくり
- ・いじめ問題

- ・声かけ運動、スポーツ教育 他
- ・教育現場の体制、地域活動による教育

8グループ  
★高校生

- ・先生がいじめの実態を把握できていない
- ・通学路で交通ルールが守られていない
- ・図書館の見た目が入りづらい

- ・生徒が気軽に相談できる場所を増やす 他
- ・定期的に交通安全教室を実施する 他
- ・図書館をもっとおしゃれにする 他

## まちの健康

### 主要課題

### 対応方針・解決策

#### ⑤安全安心を感じる生活について

1グループ

- ・防犯対策の強化・充実、朝方の防犯対策
- ・道路事情
- ・自治会活動の弱体化

- ・地域みんなで防犯 他
- ・車と人との共存 他
- ・主婦、退職世代の参加 他

2グループ

- ・静かな(騒音のない)暮らし
- ・地域の取り組み
- ・行政の取り組み姿勢

- ・基地をなくす、移転
- ・世代を超えた地域でのコミュニケーション
- ・地域・行政共に取り組む 他

#### ⑥快適で利便性の高い街づくりについて

3グループ

- ・ゴミバス運行の効率化
- ・自転車道の整備と乗車マナーの向上
- ・小規模公園の再生・整備

- ・「のりあい」の利用を検討
- ・自転車の乗り方教室の開催など
- ・市と各自治会で話し合いを行う

4グループ

- ・公園・農地の有効活用
- ・コミュニティバス(のろっと)の利便性をあげる(道路・交通)
- ・市民の意識が低い

- ・使用されていない農地・緑地を子どもたちに開放 他
- ・使いやすさをリサーチする 他
- ・市民討議会の開催 他

#### ⑦環境への配慮やまちの緑化について

5グループ

- ・遊休農地の有効活用
- ・美化運動の積極化
- ・CO<sub>2</sub>の削減

- ・民間組織への提供 他
- ・住民同士の声の掛け合い 他
- ・コミュニティバス(のろっと)の増加(台数・ルート) 他

6グループ

- ・自然との共生をテーマにした街づくり
- ・ごみの減量化
- ・河川の水質向上

- ・ランドデザイン(明瞭化)
- ・市内企業による過剰包装の低減化 他
- ・市独自の排水基準を設定 他

7グループ  
★高校生

- ・ごみが多くて害虫が多い
- ・タバコのポイ捨てが多い
- ・緑が少ない

- ・害虫・害獣駆除 他
- ・市のルールをパンフレットにして配る 他
- ・地域で管理する花壇をつくる 他



## 社会の健康

### 主要課題

### 対応方針・解決策

#### ⑧豊かな心を育む生涯学習、文化活動について

1グループ

- ・大和らしい伝統の掘り起こし
- ・図書館や文化施設の充実
- ・スポーツ施設の充実

- ・郷土史家、趣味のサークル等の活用
- ・量より質の充実 他
- ・なでしこ(女子サッカー)に特化する 他

2グループ

- ・地域人材の活用
- ・施設の充実
- ・イベント等の告知

- ・地元の文化人等による勉強会・講演会
- ・図書室のアップグレード 他
- ・広報誌が市民全員に届くような制度づくり 他

#### ⑨まちの活力や賑わいについて

3グループ

- ・交流の盛んなまちづくり
- ・魅力ある商業が栄えるまちづくり
- ・地域に根付いた会社が育つまちづくり

- ・メディアへの露出、PRの強化 他
- ・駅前等の商業地域の環境整備
- ・会社設立のサポート体制の確立 他

4グループ

- ・市内産業の活性化
- ・厚木基地を核とした多文化共生
- ・世代間や地域と行政などの連携強化

- ・産業ツアー 他
- ・お互いの名産品を伝え合う 他
- ・老若男女が参加できるお祭りの創出 他

#### ⑩大和の魅力のPRについて

5グループ

- ・ヤマトンのアピール
- ・女子サッカー
- ・厚木基地

- ・ヤマトンの恋人募集 他
- ・なでしこメンバーと交流できるイベント 他
- ・弱みを強みにしてPR材料に

6グループ

- ・情報量が少ない、情報多様化
- ・自然環境整備
- ・魅力的な企画

- ・情報発信源の一本化 他
- ・整備を続けられる体制づくり 他
- ・市民参加型イベント 他

7グループ  
★高校生

- ・ヤマトン
- ・市の知名度が低い
- ・若い子向けのものがない

- ・ヤマトンに特徴を付ける 他
- ・芸能人をイベントに呼ぶ 他
- ・レジャー施設をつくる 他

